

## 令和5年度事業中間報告

### 1) 普及活動の充実

#### ①企画展等の開催（定期展示会開催事業）

- ◆名称 令和5年度企画展「パレオパラドキシアの研究室」  
期間 5月11日（木）～開催中  
概要 パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本のクリーニングが完了した部位を順次展示。9月16日（土）～10月22日（日）に頭骨を期間限定公開した。  
来館者 9,452名（9月末時点）

#### ②講座等の開催（定期講座開催経費）

- ◆名称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）  
概要 小学校以上を対象とし、野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり+化石のクリーニング（1日コース）を行う。  
開催日 毎月1回  
定員 半日コース：30名、一日コース：20名  
参加費 半日コース 500円 一日コース：1,000円
- ◆名称 みずなみ化石教室上級コース  
概要 化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。  
開催日 5月27日（土）、10月28日（土）  
条件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者  
定員 10名 参加費 1,500円
- ◆名称 夏の化石教室～化石マイスター養成編～  
概要 小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。  
開催日 7月27日（木）、28日（金）、8月12日（土）  
時間 9時30分から15時30分  
定員 20名 参加費 2,000円  
講師 川瀬基弘氏、村宮悠介氏、市村駿汰氏、片田はるか氏
- ◆名称 夏の化石教室～化石マイスター認定編～  
概要 化石マイスター認定編修了者およびみずなみ化石教室上級編修了者を対象に、地層観察・柱状図作り・化石のレプリカ作り・認定試験を行い、修了者には認定証を授与する。

開催日 8月13日(日)  
 時間 9時30分から15時  
 定員 10名 参加費 1,500円  
 講師 安藤佑介(当館学芸員)

◆名称 恐竜の模型を作ろう(入門編)  
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けする。

開催日 8月19日(土)・8月20日(日)  
 時間 19日:13時~15時、20日:9時30分~11時30分  
 定員 各回20名 参加費 1,500円  
 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

◆名称 恐竜の模型を作ろう(応用編)  
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。

開催日 8月20日(日)  
 時間 13時~15時30分  
 定員 15名 参加費 2,000円  
 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

◆名称 コハクの原石を磨こう!  
 概要 コハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成する。

開催日 10月22日(日)  
 時間 10時から12時、13時から15時  
 定員 各回20名 参加費 1,500円  
 講師 当館学芸員

③博物館実習生の受け入れ

概要 7月下旬から延べ10日間、実習生1名(信州大学理学部)を受け入れた。

④学校等教育機関との連携(来館・化石採集対応) ※太字が市内学校

	学校等団体名	対応日	人数等	内容等
1	明世小学校2年生	6月29日	25名	パレオパラドキシアの化石見学、説明
2	名古屋市立向陽高校	8月1日	19名	化石採集、博物館見学

3	土岐小学校6年生	10月12日	62名	化石採集
---	----------	--------	-----	------

⑤出前授業・講演会・化石資料貸し出しの実施（市内向け）

概要 市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。要望があった場合は随時対応を行う（要予約）  
4月に教頭会、理科部会で宣伝を行った。

	学校等団体名	対応日	人数等	内容等
1	寿大学授業（釜戸公民館）	4月20日	40名	パレオパラドキシアについて中間報告
2	釜戸化石教室	8月11日 8月18日 9月10日	延12名	パレオパラドキシア産地で化石採集、鑑定、講義

⑥パレオパラドキシアに関連した海の学び普及事業

（定期展示会開催事業、パレオパラドキシア緊急発掘・調査事業）

概要 パレオパラドキシアが見たみずなみのうみべー化石から学ぶみずなみが海だったころーの事業名で公益財団法人日本海事科学振興財団より支援を受けて海の学びに関する以下の普及事業を行う（支援金額：114万円）。

(1)産状レプリカを用いた教育普及活動

持ち運び可能な出前講座用の産状レプリカ展示台を制作し（制作費：約40万円）、博物館や市内小中学校で展示解説を行う。目標：講座開催数10件、参加者数200人

	学校等団体名	対応日	人数等
1	お披露目式での解説	5月4日	36名
2	一般向け解説	5月6日	37名
3	講座参加者向け解説	5月27日	12名
4	明世小学校2年生	6月29日	25名
5	団体対応（向陽高校）	8月1日	19名
6	団体対応（大阪市理科部会）	8月26日	7名

(2)パレオパラドキシアが見たみずなみのうみべワークショップ

公民館や他の博物館（きしわだ自然資料館・豊橋市自然史博物館等）と連携してパレオパラドキシアがいたころの瑞浪市の様子についての講演会を行う。目標：講演会参加者数：400人

	学校等団体名	対応日	人数等
1	釜戸町地域づくり町民会議	6月23日	41名

2	第17回市民講座「パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本」	9月9日	29名
3	釜戸化石教室に関連したパレオパラドキシアの講義	9月10日	4名

(3)「パレオパラドキシアが見たみずなみのうみべ」ガイドブックの刊行  
 海の学びの質向上と持続可能な事業展開を目的に、パレオパラドキシアがいた瑞浪市が海だったころの様子を詳しく知ることのできるガイドブックを10月6日に2,000冊刊行した。

## 2) 資料の充実と調査・研究

### ①資料の閲覧

	申請者・所属	閲覧日	資料名・数量
1	ジェンキンス・ロバート（金沢大学）	4月6日	師崎層群産魚類化石4点
2	加瀬友喜（国立科学博物館）	5月19日	ニシキウズガイ属の貝化石3点
3	木村由莉（国立科学博物館）	8月9日	アンネクテンスゾウなど4点
4	新山颯大（沖縄県立博物館・美術館）	9月13日	オキナワアナジャコ、沖縄県産化石など44点
5	木澤慶和（加茂高校）	9月30日	瑞浪層群産サイ化石2点

### ②資料の貸し出し

	申請機関（または申請者・所属）	閲覧日・貸出期間	資料名・数量・目的
1	豊橋市自然史博物館	5月16日～9月29日	ミズナミムカシアシカ・1点・特別企画展で展示のため
2	大阪市立自然史博物館	7月1日～10月31日	ヒッパリオン・1点・化石ハンター展で展示のため
3	蒲郡市生命の海科学館	5月18日～9月20日	サメの歯化石・3点・企画展で展示のため
4	加瀬友喜（国立科学博物館）	5月19日～1年間	貝化石ムツキウメ・1ロット・研究のため
5	名古屋大学博物館	6月1日～10月31日	ミズノテングエビなど・2点・特別展で

			展示のため
6	名古屋市科学館	6月15日～令和6年 2月28日	パレオパラドキシア レプリカ型など・6 点・化石ハンター展 で展示のため
7	芳賀拓真（国立科学博物館）	7月12日～1年間	ベニワスレガイ属・ 1ロット・研究のため

③調査・研究事業（化石博物館資料収集・備品等購入経費）

（1）調査・資料収集

- ・パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本研究に関連した釜戸町下切区周辺での調査

（2）研究

- ・九州産（主に薩摩川内市）カニ化石の研究（担当：安藤、継続中）
- ・釜戸町産パレオパラドキシアの研究（骨格、共産化石など）  
（担当：安藤、パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本研究プロジェクトチームを結成して実施、令和6年3月に報告書出版）
- ・海底洞窟堆積物より産出した十脚類化石  
（担当：柄澤、国立科学博物館と共同）
- ・平成30年に市内で発見されたシカ化石の記載（新属新種）  
（担当：安藤、ふじのくに地球環境史ミュージアムと共同）
- ・化石博物館に収蔵された十脚類化石の再検討  
（担当：柄澤、継続中）
- ・更新世のフジツボ化石の分類学的研究、クジラやサンゴに特徴的に着床するフジツボ類の改訂（担当：柄澤）
- ・生命の樹プロジェクトー十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究  
（担当：柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究）

④展示資料等の購入（化石博物館資料収集・備品等購入経費）

- ・研究用書籍：Marine Decapod Crustacea を購入。

⑤古生物データベースの更新

（化石博物館資料収集・備品等購入経費、化石博物館システム改修事業）

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。9月末時点での登録数は、5,579点である。古生物デー

データベースは博物館のホームページで公開している。

⑥化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

令和5年度は研究報告第50巻の公開を行う。現在まで、11編の論文が投稿され（アメリカ3編、スペイン1編、イギリス1編、日本6編）、9月末までにうち6編を公開している。公開された論文については令和6年3月に冊子媒体で250部出版する予定である。

⑦職員による論文の発表：9月末までに下記論文が出版された。

- ・ Karasawa, H. 2023. Fossil whale barnacles (Cirripedia: Thoracica: Coronuloidea) of Japan. Bulletin of the Mizunami Fossil Museum 50(1): 1-19.
- ・ Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, and H. Karasawa. 2023. Part R, Revised, Volume 1, Chapter 8T21: Systematic Descriptions: Subsection Thoracotremata. Treatise Online 166: 1-25.
- ・ Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, H. Karasawa, A. A. Klompmaker, and C. M. Robins. 2023. Part R, Revised, Volume 1, Chapter 8T22: Systematic Descriptions: Infraorder Anomura. Treatise Online 168: 1-31.
- ・ Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, M. Hyžný, and H. Karasawa. 2023. Part R, Revised, Volume 1, Chapter 8T24: Systematic Descriptions: Infraorder Axiidea and Gebiidea. Treatise Online 170: 1-32.
- ・ Ng, P. K. L., H. Karasawa, and H. Kato. 2023. *Arges* De Haan, 1833: A senior synonym of *Typhlocarcinops* Rathbun, 1909 (Brachyura, Pilumnidae). Crustaceana 96(7): 703-714.

⑧報道発表、広報への記事掲載

これまでにパレオパラドキシア産状レプリカお披露目、頭骨公開に関する情報提供を行った。広報みずなみには「みずなみ化石ナビ」の記事を6月号（パレオパラドキシア産状レプリカについて）、10月号（パレオパラドキシアについてわかったこと、その1）に掲載した。

3) その他

①文化施設再編について

文化施設の再編について、担当課としては化石博物館、陶磁資料館、美術館の3館を統合し、新博物館を建設することについて検討している。今年度は全庁的に方向性を決定し、来年度以降の計画を策定する。具体的な建設計画の策定段階で当協議会でも報告する。

## ②化石博物館の改修について（化石博物館改修事業）

化石博物館老朽化に伴う施設改修のための調査及び実施設計を行い、設計金額に基づいた予算要求を行う。改修工事は、令和6年度に実施予定である。

## ③国民文化祭について（国民文化祭（瑞浪化石フェスタ）開催事業）

令和6年度に岐阜県で開催される「清流の国ぎふ」文化祭2024（国民文化祭）で、「瑞浪化石フェスタ～パレオパラドキシア大集合～」を開催する。釜戸町で発掘されたパレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の復元骨格に加え、福島県、埼玉県、岡山県で発掘されたパレオパラドキシアの復元骨格を瑞浪市総合文化センターで展示する（令和6年10月19日（土）～10月27日（日）を予定）。併せて、専門研究者による対談会、展示解説会を開催する。これまでに出演者との交渉を行い、10月以降に展示予定の骨格標本の事前調査、借用交渉を行い、2月までに展示のレイアウトを行う。

## 資料

## 令和5年度入館者数（人）

月	一般	小中	一般団体	小中団体	合計	4年度	比較
4	1,110	942	47	19	2,118	1,538	580
5	2,515	2,176	99	67	4,857	3,895	962
6	786	482	48	301	1,617	1,173	444
7	976	733	85	232	2,026	1,864	162
8	1,755	1,439	68	236	3,498	2,192	1,306
9	830	558	31	157	1,576	0	1,576
合計	7,972	6,330	378	1,012	15,692	10,662	5,030

## 令和5年度野外学習地利用者（人）

月	個人組数	個人人数	団体組数	団体人数	組数合計	人数合計	4年度	比較
4	293	1,004	2	39	295	1,043	1,307	-264
5	484	1,746	10	255	494	2,001	2,440	-439
6	133	436	3	53	136	489	541	-52
7	187	582	3	99	190	681	666	15
8	292	1,003	10	285	302	1,288	1,209	79
9	203	637	1	18	204	655	715	-60
合計	1,592	5,408	29	749	1,621	6,157	6,878	-721

## 令和5年度みずなみ化石教室参加者 (人)

半日コース		一日コース		上級コース	
定員 30名		定員20名		定員10名	
開催日	受講者数	開催日	受講者数	開催日	受講者数
4月23日	22	4月23日	18		
				5月27日	13
7月16日	32	7月16日	21		
9月17日	26	9月17日	6		
合計	80	合計	45	合計	13

※5月と6月は悪天候により中止。

## 令和5年度各講座受講状況 (人)

講座名	開催日	受講者数	定員
化石マイスター養成編	7月27日	19	20
化石マイスター養成編	7月28日	20	20
化石マイスター養成編	8月12日	21	20
化石マイスター認定編	8月13日	8	10
恐竜の模型を作ろう(入門編)	8月19日	14	20
恐竜の模型を作ろう(入門編)	8月20日	21	20
恐竜の模型を作ろう(応用編)	8月20日	16	15
合計		119	125

## 令和5年度予算 (千円)※補正予算含む

科目	5年度予算	4年度予算	比較
化石博物館事務経費	1,736	1,855	-119
化石博物館施設管理経費	7,179	6,951	228
定期研究報告発行事業	1,217	1,227	-10
定期講座開催経費	912	885	27
化石博物館定期展示会開催事業	333	406	-73
化石博物館改修事業	3,000	0	3,000
化石博物館資料収集・備品等購入経費	267	716	-449
パレオパラドキシア緊急発掘・調査事業	3,965	7,763	-3,798
国民文化祭(瑞浪化石フェスタ)開催事業	137	0	137
合計	18,746	19,803	-1,057

## 令和6年度事業計画について（案）

### 1) 普及活動の充実

#### ①企画展等の開催（定期展示会開催事業）

◆名称 パレオパラドキシアの研究室  
 期間 開催中～8月31日  
 概要 現在開催している「パレオパラドキシアの研究室」を継続して行う。令和5年3月までに得られた研究成果を順次展示する。

◆名称 フロア展示  
 概要 エントランスホールにて展示ケース1台に広報や論文に掲載された化石を定期的に展示する。年に1～2回実施予定。

#### ②講座等の開催（定期講座開催経費）

◆名称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）  
 概要 小学校以上を対象とし、野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり+化石のクリーニング（1日コース）を行う。

開催日 毎月1回

定員 半日コース：30名、一日コース：20名

参加費 半日コース 500円 一日コース 一般：1,000円

◆名称 みずなみ化石教室上級コース  
 概要 化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。  
 開催日 5月25日（土）、11月23日（土）  
 条件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者  
 定員 10名 参加費 1,500円

◆名称 夏の化石教室～化石マイスター養成編～  
 概要 小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。

開催日 7月25日（木）、26日（金）、8月10日（土）

時間 9時30分から15時30分

定員 20名 参加費 2,000円

講師 川瀬基弘氏、村宮悠介氏、片田はるか氏、市村駿汰氏

◆名称 夏の化石教室～化石マイスター認定編～  
 概要 化石マイスター認定編修了者およびみずなみ化石教室上級編

修了者を対象に、地層観察・柱状図作り・化石のレプリカ作り・認定試験を行い、修了者には修了証を授与する。

開催日 8月11日(日)  
 時間 9時30分から15時  
 定員 10名 参加費 1,500円  
 講師 安藤佑介(当館学芸員)

- ◆名称 パレオパラドキシアを復元しよう ※新規講座  
 概要 パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の3D骨格画像にイラストで肉付けする。

開催日 8月17日(土)  
 時間 13時から15時  
 定員 20名 参加費 1,000円  
 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

- ◆名称 恐竜の模型を作ろう(入門編)  
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けをする。

開催日 8月18日(日)  
 時間 9時30分~11時30分  
 定員 15名 参加費 1,500円  
 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

- ◆名称 恐竜の模型を作ろう(応用編)  
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。

開催日 8月18日(日)  
 時間 13時~15時30分  
 定員 10名 参加費 2,000円  
 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

- ◆名称 化石検定  
 概要 令和5年にミライ創ろまい課がプレテストを行った化石検定の本試験を行う。試験後は監修した講師による講演会を行う。ミライ創ろまい課と共催イベントとする予定。

開催日 10月19日(土)  
 時間 13時~15時 場所 瑞浪市総合文化センター3階講堂  
 定員 50名 検定料 無料

講 師 木村由莉（国立科学博物館）

◆名 称 小さなほ乳類化石を探そう！  
概 要 高知県の洞窟から採集した堆積物から小さなほ乳類の化石を探し、標本作成を通じて化石の観察法などを学ぶ。

開 催 日 10月20日（日）

時 間 9時30分～11時30分

定 員 20名 参加費 1,000円

講 師 木村由莉（国立科学博物館）

◆名 称 コハクの原石を磨こう！  
概 要 コハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成する。

開 催 日 11月17日（日）

時 間 10時から12時、13時から15時

定 員 各回20名 参加費 1,000円

講 師 当館学芸員

### ③博物館実習生の受け入れ

概 要 7月下旬の1週間、実習生を受け入れる。

### ④出前授業・化石資料貸し出しの実施（市内向け）

概 要 市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。要請があった場合、主に野外学習地で採集できる化石をケースに入れて貸し出し、理科の補助教材として役立ててもらおう。また、要望があった場合は、学芸員が出向き、資料の解説を行う。

開 催 日 要望があった場合は随時（要予約）

講 師 当館学芸員

対 象 小学4年～中学3年

## 2) 資料の充実と調査・研究

### ①調査・研究事業

#### (1) 研究

- ・九州産（主に薩摩川内市）カニ化石の研究（担当：安藤、継続中）
- ・平成30年に市内で発見されたシカ化石の記載（新属新種）  
（担当：安藤、ふじのくに地球環境史ミュージアムと共同）

- ・海底洞窟堆積物より産出した十脚類化石  
(担当：柄澤、国立科学博物館等と共同、新規テーマ)
- ・化石博物館に収蔵された十脚類化石の再検討  
(担当：柄澤、継続中)
- ・更新世のフジツボ化石の分類学的研究、クジラやサンゴに特徴的に着床するフジツボ類の改訂 (担当：柄澤、新規テーマ)
- ・生命の樹プロジェクトー十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究  
(担当：柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究)

②展示資料等の購入・制作 (化石博物館資料収集・備品等購入経費、  
パレオパラドキシア緊急発掘・調査事業)

- ・パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本復元骨格の制作：パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の復元骨格模型を制作する。令和6年10月にお披露目を行い、令和7年1月～2月に常設展示室に設置する。
- ・図書コーナー用図書：恐竜超世界等を購入予定。
- ・研究用書籍：Tropical Deep-Sea Benthos等2冊を購入予定。

③古生物データベースの更新

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。

④化石博物館研究報告の発行 (定期研究報告発行事業)

令和6年度は研究報告第51号の公開を行う。公開された論文については令和7年3月に冊子媒体で250部出版する予定である。あわせて、博物館50年史を刊行する予定である。

3) その他

①文化施設再編について

文化施設の再編について、担当課としては化石博物館、陶磁資料館、美術館の3館を統合し、新博物館を建設することについて検討している。今年度は全庁的に方向性を決定し、来年度以降の計画を策定する。具体的な建設計画の策定段階で当協議会でも報告する。

②化石博物館の改修について (化石博物館改修事業)

化石博物館老朽化に伴う施設改修工事(①雨漏り対策、②電気設備更新)を実施する。

## ③国民文化祭について(国民文化祭(瑞浪化石フェスタ)開催事業)

令和6年度に岐阜県で開催される「清流の国ぎふ」文化祭2024(国民文化祭)で、「瑞浪化石フェスタ～パレオパラドキシア大集合～」を開催する。釜戸町で発掘されたパレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の復元骨格に加え、福島県、埼玉県、岡山県で発掘されたパレオパラドキシアの復元骨格を瑞浪市総合文化センターで展示する(令和6年10月19日(土)～10月27日(日)を予定)。併せて、専門研究者による対談会、展示解説会を開催する。実行委員会形式で事業を運営する。

## ④展示室の改装について(パレオパラドキシア緊急発掘・調査事業)

令和6年10月にパレオパラドキシア復元骨格、復元画、復元模型が完成する。国民文化祭にてお披露目した後、令和7年1月～2月に博物館を休館し、展示室を改装し、これらを展示する。主な改装内容は、①地図コーナーを撤去し、そこにパレオパラドキシア復元骨格を復元画などととも展示、②地質年代表周辺を改装し、ミニ展示コーナーを作る、③コハクコーナーの写真パネルの一部撤去によるスペースの確保である。

## 資料

## 令和6年度予算要求(概算)(千円)

科目	6年度予算要求	5年度予算	比較
化石博物館事務経費	2,100	1,736	364
化石博物館施設管理経費	7,100	7,179	-79
定期研究報告発行事業	1,500	1,217	283
定期講座開催経費	840	912	-72
化石博物館定期展示会開催事業	0	333	-333
化石博物館改修事業	41,000	3,000	38,000
化石博物館資料収集・備品等購入経費	276	267	9
パレオパラドキシア緊急発掘・調査事業	43,912	3,965	39,947
国民文化祭(瑞浪化石フェスタ)開催事業	5,000	137	4,863
合計	101,728	18,746	82,982

## 協議会委員名簿（令和4年4月1日～令和6年3月31日：任期2年）

氏名	所属・役職等	選出区分
大路 樹生	名古屋大学博物館 特任教授	学識経験のある者
松岡 敬二	豊橋市自然史博物館ミュージアムアドバイザー	学識経験のある者
中山 京三	瑞浪市サッカー協会理事	社会教育関係者
西尾 京子	化石博物館ボランティア 市民図書館読み聞かせボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者
加納 礼爾	明世小学校長	学校教育関係者